

たかつき 市議会 だより 会

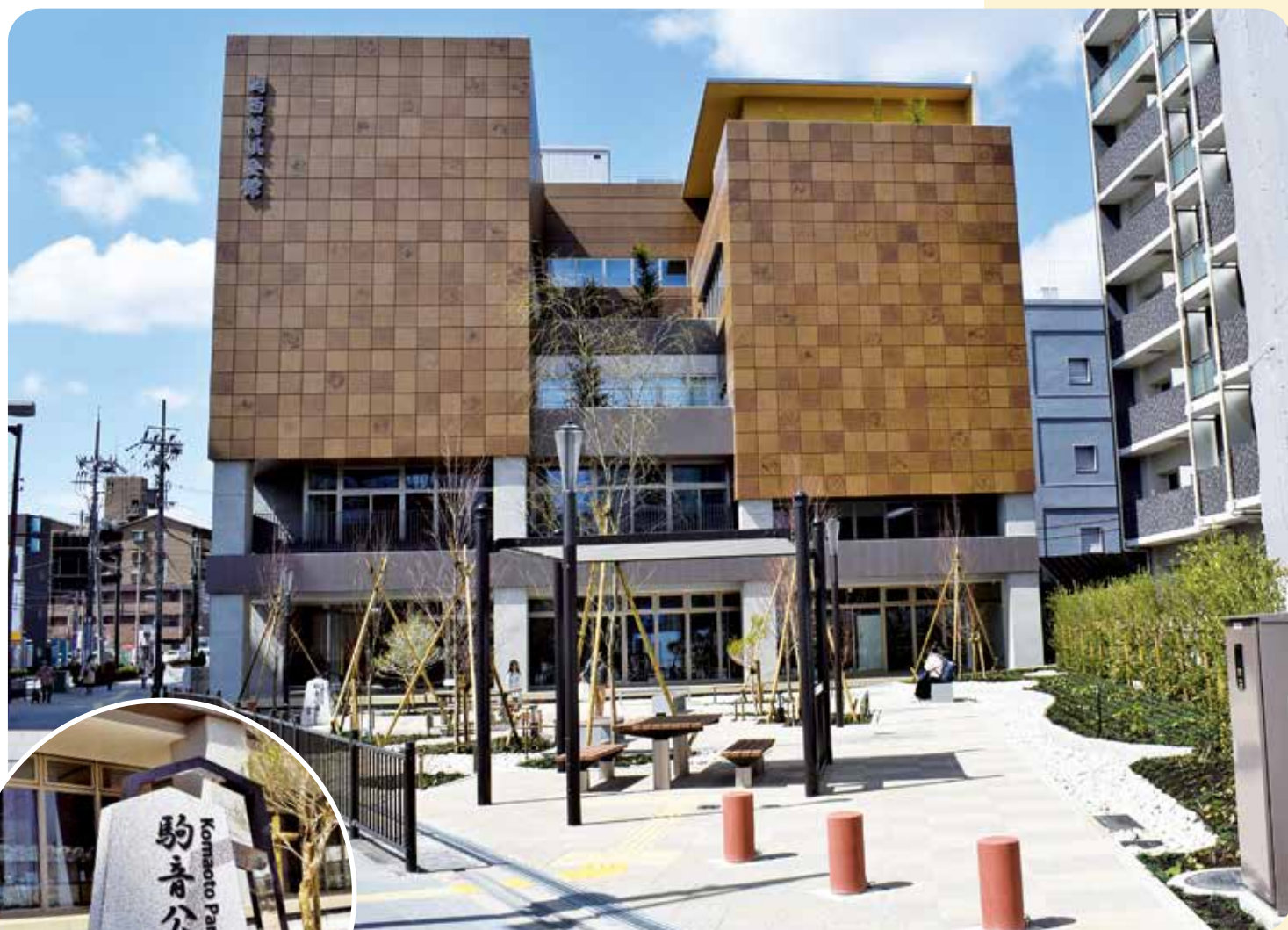
No. 289

3月定例会

Contents

3月定例会の概要	2
代表質問	3
代表質問、議案質疑	10
議案質疑、議決結果	12
表決結果	13
一般質問	14
議会の日程等	16

新たな憩いと安らぎの場
駒音公園で一息を



2025. 3月

定例会の概要

令和7年3月定例会を、
2月26日から3月25日まで
の28日間の会期で開きまし
た。

今定例会では、市長の施
政方針に対し、各会派の発
言者が代表質問を行いました。
(代表質問の要旨は3
面から10面に掲載)

また、約1494億63
56万円となる一般会計当
初予算をはじめ、各特別・
企業会計の当初予算のほか、
高槻市行政不服等審査会条
例及び高槻市議会個人情報
の保護に関する条例の一部
改正などの条例案件などを
審議し、議決しました。

このほか、議員提出議案
として、高槻市議会委員会

条例及び高槻市議会会議規
則の一部改正や、地方議会
への多様な人材の参画促進
を求める意見書ほか1件の
意見書を審議し、議決しま
した。

主な議案のあらまし

将来にわたる安定経営へ 水道料金を改定

水需要の減少や管路・施
設の更新需要の増大等によ
り、今後、危機的な財政状
況が見込まれる中、将来に
わたる安定経営を行いつつ、
管路の耐震化など水道施設
の強靱化を着実に推進し、
安全で安心な水道水の安定
供給を堅持するため、物価
高騰の状況を考慮し緩和措
置を設けた上で水道料金を
改定する、高槻市水道事業
条例中一部改正についてを
可決しました。

人事案件

◎監査委員に

畑山 和幸さん
(長岡京市、70歳)
を選任することに
同意しました。

市議会の各委員会

緊急時にはオンラインでの開会が可能に

市議会における災害等の対策の一環として、各委員会の開会方法の特
例でオンラインによる委員会を開くことができるようにする、高槻市議
会委員会条例中一部改正について、及び高槻市議会会議規則中一部改正
についてを可決しました。

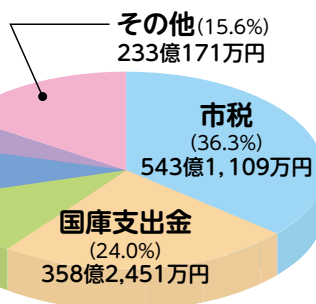
令和7年度 一般会計1,494億6,356万円の構成

歳入

地方消費税交付金
(5.2%)
78億円

府支出金
(8.6%)
128億2,626万円

地方交付税
(10.3%)
154億円



歳出

土木費(7.8%)
116億3,027万円

衛生費(8.6%)
128億1,400万円

教育費(9.2%)
138億690万円

総務費(9.5%)
141億6,105万円

民生費
(55.6%)
830億5,038万円

その他(9.4%)
140億97万円

※端数処理のため合計と合わない場合があります

一般会計 予算の 主な内容

- 駅前公共喫煙所のリニューアル (1億1,872万円)
- (仮称) 危機管理センターの整備 (3億9,317万円)
- 子ども医療費の助成 (20億4,534万円)
- 高槻城公園の整備 (高槻城公園北エリアの整備等) (7億208万円)
- エネルギーセンター第二工場の長寿命化 (13億267万円)

代表 質問

3月5日の本会議において、所属議員が多い会派から順番に、各会派の発言者が市長の施政方針に対する代表質問を行いました。

ここでは、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

なお、令和7年度の施政方針の内容と、施政方針に対する代表質問項目は、下記をご覧ください。



▲施政方針



▲代表質問項目

大阪維新の会高槻市議会議員団

希望あふれる高槻を 次世代へ引き継ぐため 未来を見据えたまちづくりを！

江沢 よし きもとゆう 木山ユウ子 鈴木りゅういち
※竹中 健 田村のり子 山崎麻里子 吉田 稔弘
※は発言者

災害関連死ゼロに向けた 今後の対策は

議員 在宅避難者への対策は実態把握や支援物資の供給、車中泊避難対応など課題が山積していますが、災害関連死ゼロの高槻に向けて、市長の見解と今後の対策について伺います。

市長 災害対策基本法等の一部を改正する法律案には、被災者に対する福祉的

支援等の充実が盛り込まれているほか、大阪府では避難所外避難者を含んだ避難所運営マニュアル作成指針の改定が予定されています。本市としても、分散避難などの避難所外避難者への対策を検討するとともに、必要となる備蓄物資の保管場所や財源確保の課題については国や府にさらなる支援の拡充を要望するなど、国土強靱化地域計画の基本目標の一つである、人命の保護が最大限図られることの達成に向け、対策のさらなる充実に努めていきます。

市営バス事業 運転士の育成や確保は

議員 市営バス事業について、不採算路線や生活路線等に対する考え方と、災害時等における弾力的な運行について見解を伺います。また、バス運転士の育成や確保が重要と考えますが、現状と、新たな手法を検討されるのか伺います。

市長 独立採算を原則とする公営企業として、安定した経営を図る観点から、



▲適切な交通手段の導入等を進める山間地域

利用状況に応じたダイヤ編成や山間地域における適切な交通手段の導入等を進めるとともに、公共の福祉を増進させる観点から他の様々な行政施策と連携しています。また、災害時には避難所までの移動手段としての役割を担っています。全国的な運転士不足の状況にあって、その育成及び確保は非常に重要であると考えています。令和7年度は従来どおりのバス運転士の採用のほか、大型二種免許未取得者を対象とした採用活動に取り組みます。

島本町との消防指令事務 共同運用開始までの取組は

議員 本年10月の島本町との消防指令事務の共同運用開始に向け、不安要素の解消や訓練など万全を期した準備をお願いしたいですが、運用開始までの取組は。

市長 高槻市島本町消防指令事務協議会で、共同運用の効果となる受信体制の強化、相互応援体制の迅速化、大規模災害時の充実強化等に関する運営体制について、市民サービス向上を目的とした協議を進めます。

また、4月から新消防指令システムの設置に着手し、現在のシステムからのデータ移行や緊急通報回線試験など、新消防指令システムへの移行時にトラブルが発生しないよう、整備を進めていきます。

また、8月からは、指令センター員に対し新消防指令システムの操作訓練、島本町の地水利把握などの研修を計画的に行い、10月には、市民が安全で安心して暮らせるまちの実現に向け、より迅速・確実な災害対応

が可能となるよう、高槻市島本町消防指令センターの運用を開始します。



▲10月から島本町との共同運用が開始される消防指令センター

高槻版デジタル地域通貨 課題解決への見解は

議員 デジタル地域通貨は、消費促進により地元ビジネスを支援する仕組みとして利点がある一方で、セキュリティ面やプライバシー保護の問題、運営管理のコストや、地域経済への負担も考える必要がありますが、課題解決への見解は。

市長 プレミアム付商品券事業の継続的なデジタル商品券の導入で、事業者の電子決済への理解促進につ

ながったと考えています。こうした取組を通じ運営管理の経費や情報セキュリティの在り方等、一定のノウハウを蓄積してきました。今後は他市等の事例も分析・研究し、デジタル地域通貨が地域性に合ったものとなるよう検討を進めます。

就学後の子ども・家庭へ さらなるサポートを

議員 未就学児に比べ、就学後の子どもと家庭へのサポートはさらなる充実が必要であり、教育と福祉の連携が喫緊の課題と考えます。市の課題認識と対策は。

市長 教育・福祉の両分野の専門性や制度が異なるため、学校と障がい児通所支援事業所のそれぞれが有する児童生徒に必要な支援情報の共有や相互理解に課題があると認識しています。対策については、それぞれの児童生徒の個々の状況等に依りて、児童生徒、保護者、学校、行政等の支援機関が共通理解の下で支援を行うことが必要と考えており、関係者向けの各種制

度の周知や研修等の充実に加え、両分野が連携する会議体等で、引き続き教育と福祉の連携に取り組みます。

学校の水泳授業 民間事業者活用における 保護者の負担は

議員 民間事業者を活用した水泳授業の試行実施について、専門的な指導は児童にとって大変有意義で、期待される取組と考えます。対象学年や実施期間、対象校の選定基準、本格導入に向けた方針、本事業に係る財源の確保と保護者負担の有無について伺います。

市長 対象は小学校の全学年とし、学校水泳授業を行っている6月から9月以外の期間も実施することについて、検討しています。令和7年度は円滑な試行実施に向け、児童数や事業者の学校水泳授業の受入実績、施設と学校との距離などを総合的に判断し、対象校や事業者を選定します。今後は、試行実施の状況を踏まえ検討していきます。財源については、国や府

の補助等はありませんが、保護者への新たな負担が生じないよう、取り組みます。

路上喫煙対策 新たな禁止区域の指定を

議員 密閉型喫煙所へのリニューアル等について、喫煙者と非喫煙者が共存できる環境整備の前進は大きい評価していますが、JR摂津富田駅前の喫煙所設置に向け、当駅周辺にも路上喫煙禁止区域の指定が必要と考えます。市の見解は。

市長 中心市街地のJR高槻駅・阪急高槻市駅周辺等を路上喫煙禁止区域に指定し喫煙所を設置したことで、平成25年当初の2万人近くの喫煙者が約2000人に大きく減少し、たばこのポイ捨てが減りました。一方で、近年は路上でのたばこの煙や臭いに対する苦情が増加しており、今般、快適な公共空間を創出するため、JR高槻駅前・阪急高槻市駅前等に密閉型の喫煙所を設置するとともに、JR摂津富田駅にも新たな喫煙所を計画しています。

公明党議員団

安全・安心に暮らせる我がまち
高槻を推進し、「大阪の高槻」から
「日本の高槻」へ飛躍！五十嵐秀城
宮田 俊治※笹内 和志
湯峯佳代子高島佐浪枝
吉田 章浩

三井 泰之

※は発言者

水道事業
経緯と今後の取組は

議員 本年10月から水道料金の改定を進めるとのことですが、課題について市民に明確に示すことが必要です。これまでの水道事業の経緯と今後の取組を伺います。

市長 今日まで支出の削減等を徹底し、健全経営に努めてきましたが、水需要

の減少等により今後は収支赤字等が見込まれる一方、管路等の耐震化が急務であるため、将来にわたり安定経営を行うための方策について検討を重ねた結果、本年10月から水道料金を改定します。改定は、基本料金を令和7年度は据え置き、令和8年度及び令和9年度は改定額を2分の1とする激変緩和措置を実施します。今後、料金改定への市民の理解醸成に取り組みとともに企業債の活用も念頭に入れながら安定経営に努め、安全で安心な水道水の安定供給を堅持していきます。



▲水道事業の現状などを記載した水道部のチラシ

令和7年度の市政運営に
対する市長の決意は

議員 未来に起こり得る課題に対して、リーダーシップを発揮し、進めていかなければならない現状において、市長の強い決意を

伺います。

市長 令和7年度の市政運営においても、市政の発展と市民福祉の向上に全力で取り組みます。

具体的には、高槻版地域共生社会モデルとして、にぎわいや交流を創出する全国初の取組となる（仮称）地域共生ステーションや本市総合防災力の飛躍的向上を図る（仮称）危機管理センターの整備など、大阪の高槻から日本の高槻として着実に歩みを進めるべく、施策を推進していきます。

まちづくりと連携した
交通施策の課題と今後は

議員 まちづくりと連携した交通施策について、地域等の課題や今後の市域全体への展開について、市の見解を伺います。

市長 人口減少等による利用者の減少に加え、路線バスの運転士不足が深刻化するなど、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増す中、樫田地域で実証運行を実施するデマンド交通は、車両の小型化により路線バ

スの運転士不足の解消にも寄与するなど、重要な取組であると考えています。

今後も地域公共交通の維持に努めるとともに、地域特性に応じた移動手段の確保に向け、取り組みます。

自然災害への対策は

議員 頻発化・甚大化する自然災害に対する本市の取組について伺います。

市長 避難所の取組については、小中学校における空調設備及びマンホールトイレの整備、応急給水活動の充実、必要な物資等の備蓄に取り組みとともに、民間事業者等と災害時応援協定を締結するなど、環境の向上に努めています。

次に、災害ケースマネジメントについて、大阪府北部地震の際の経験を生かし、地域の関係団体と連携・協力した被災者支援の充実に取り組んでいきます。

また、民間建築物の耐震化では、令和7年度は木造住宅の耐震改修工事費用の補助額の増額や次期耐震化

アクションプランを策定し、安全・安心で災害に強いまちづくりを着実に進めます。



▲避難所で整備されるマンホールトイレ

子ども家庭みまもり
センター新設後の取組は

議員 子ども保健課と子育て総合支援センターの機能を統括する子ども家庭みまもりセンターの取組について、市の見解を伺います。

市長 同センターでは、従来の事業に加え、新たに児童育成支援拠点事業、地域子育て相談機関連事業、ヤングケアラーピアサポート事業など様々な支援に取り組むほか、個々の家庭状況に応じたサポートプランを作成し、関係機関との連携の下、包括的な支援を提供していきます。

体制は、センター所長をトップとした指揮命令系統

を確立し、母子保健と児童福祉に十分な知識を持つ統括支援員の下、多岐にわたる専門職が連携し、全ての妊産婦や子育て世帯、子どもへの切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。

帯状疱疹ワクチン補助 自己負担軽減の検討を

議員 帯状疱疹ワクチン補助事業について、自己負担は市区町村で決定できるため、軽減の検討を要望しますが、本市の取組について経過を伺います。

市長 本市では、定期接種化に向けた国の検討状況を注視するとともに、他市の費用助成の実施状況等を調査していたところ、本年4月から、予防接種法に基づき定期接種化されることが決定しました。

接種費用の自己負担額は、高齢者インフルエンザ等の定期予防接種と同様、北摂7市3町で統一した自己負担額を設定します。自己負担額は、2種類あるワクチンのいずれも接種費用の半額程度で設定しており、生

活保護世帯や非課税世帯等の方は、無料です。

事業の実施に当たっては、医師会の協力の下、必要な接種体制を確保するとともに、希望する方が接種機会を逃さないよう、丁寧に周知してまいります。

デジタル地域通貨の検討 本市の今後の取組は

議員 地域活性化のための新しいツールとして注目されているデジタル地域通貨について、本市の取組内容を伺います。

市長 今回新たに検討を進める高槻版デジタル地域通貨は、平常時から継続的に地域経済を活性化させていくためのもので、日常的に買物や消費の場として本市を選んでもらえるような、便利で購買意欲の向上につながる決済ツールにしたいと考えています。

他市等の事例も分析し、本市の地域性に適したものにすることで、市民の市内消費を喚起するとともに、市外からの買物流入もさらに促進されるよう、今後、

検討を進めていきます。

令和7年度 予算編成のポイント

議員 前年度比6・4%増の予算編成とされましたが、予算編成のポイントを伺います。

市長 本市は、市民1人当たりの基金残高の多さや市債残高の少なさなど、全国トップクラスの健全財政を維持していることに加え、令和7年度は給与所得の増加などにより、市税収入の増加も見込んでいます。このような中、国が定める法定事務等に適切に対応する予算を計上するほか、本市の独自施策についてもさらなる充実を図りました。

主なものでは、子ども医療費の完全無償化、(仮称)将棋のまちづくり推進プランの策定など、施政方針に掲げた次世代への積極投資、成長基盤の強化、健全財政の堅持の3つの柱の下、あらゆる行政分野においてさらなる施策の充実を図るための予算編成としています。

自民・無所属議員団

高槻市の発展を目指して 市政に関心を持てる 「おもしろい」を大切に！

岩 為 金 雅 ※このきよし
中村 俊 森 樹 真鍋宗一郎
平田 明子 裕也
※は発言者

高槻城公園 今後の整備方針は

議員 高槻城公園は高槻の歴史にとって象徴的なエリアであることから、本市のイメージや品格を大きく左右するものと考えますが、今後の整備方針について、市の見解を伺います。

市長 今回整備に取り組み北エリアは、高槻城を構成した土塁・土塀や武家屋敷をはじめとする当時の景観を再現するほか、大手地区では、城下町を見守った火の見やぐらを現代のラン

ドマークとしてよみがえらせるとともに、カフェ等の民間店舗を導入します。

かつてあった高槻城の趣を再現し、城下町の風情を感じられる新たなシンボルエリアを創出することで、さらなるまちのにぎわいと品格の向上を図るとともに、シビックプライドの醸成につながるよう整備に取り組めます。



▲高槻城公園北エリアの大手地区に再現予定の火の見やぐら (イメージパース)

不登校対策 学校の取組支援を

議員 不登校は現在も社会的に大きな課題であり、学校を取り巻く様々な人が力を合わせ、学校の取組を

支援することが重要であると考えますが、市の見解は。

市長 令和7年度は、不登校等支援員を増員し、スクールカウンセラー等の専門家と教職員が連携するなど、個々の状況に応じた支援体制のさらなる充実を図ります。また、不登校をはじめとした複雑化・多様化する課題への対応については、学校・家庭・地域の連携が不可欠です。来年度から全中学校区に設置するコミュニティ・スクールの仕組みを活用し、関係する全ての大人が連携・協働しながら子どもたちを育てる「地域とともにある学校づくり」を推進していきます。

将棋のまち高槻 さらなる取組の推進を

議員 将棋のまちの知名度をいかに上げていくか、その仕掛けが必要です。知恵と工夫で、さらなる将棋のまちの取組を推進してほしいと考えますが、見解は。

市長 昨年12月3日、日本将棋連盟の西日本唯一の拠点施設である関西将棋会

館がグランドオープンを迎え、SNS上で本市の取組が話題になるなど、日々、会館移転の効果を実感しているところ です。

移転オープンに向けては、全国からの来訪者等に、将棋のまち高槻を感じていただけるような取組を進めてきました。今後についても、(仮称)将棋のまちづくり推進プランを策定し、JR高槻駅北エリアにおいて、魅力ある駅前空間を創出するとともに、商業団体や関係機関とも連携し、引き続き、将棋を通じたまちにぎわい創出と地域活性化に取り組んでいきます。



▲将棋のまち高槻の取組の一つとして設置されたオリジナル郵便ポスト

デジタル高槻市役所 「おもしろい」手法で 導入を

議員 早期の導入を期待するデジタル高槻市役所の窓口には、アバターと生成AIを組み合わせたAIナビゲーターの活用など、分かりやすく、「おもしろい」手法を大いに盛り込んでほしいですが、デジタル高槻市役所に対する市の見解は。

市長 持続可能な行政サービス維持のためには、積極的にデジタル技術を活用することが必要であり、デジタル市役所の実現は、そのために欠かせない重要な施策であると考えています。そのため、まずは、市民が手続のために市役所に足を運ぶことなく、いつでもどこでもオンラインで行政手続ができる環境の構築を進めています。

今後も、進展の著しいデジタル技術の動向を注視しながら、住民の利便性向上や業務効率化につなげるデジタル市役所のさらなる推進に向け、取組を進めていきます。

健康寿命延伸に向けた 取組は

議員 本市が現在まで市民の健康寿命の延伸に向けた様々な普及啓発活動を実施していることは高く評価しますが、骨粗鬆症は課題の一つで対策も必要です。健康寿命延伸に向けた取組は、引き続き拡充が必要と考えますが、市の見解は。

市長 本市の健康寿命は、男女ともに全国平均を上回り、府内でトップクラスとなっています。

骨粗鬆症の対策は重要で、本市でも、骨の健康度測定を集団健診で実施し、リスクの高い人には医療機関の受診を勧奨するなど、適切に医療につなげる取組を行っています。さらに、高槻ももて筋力アップ体操などの普及啓発にも取り組んでいます。

今後も健康寿命のさらなる延伸を図るため、健康たかつき21の取組を着実に推進するとともに、健康医療先進都市たかつきの取組の中で、医療関係団体との緊密な相互連携により、施策

のより一層の充実に取り組んでいきます。

駅前を良好な空間へ 品格向上に向けた取組は

議員 まちの玄関口である駅前をいかに良好な空間にしていくかは、そのまちのイメージに直結する非常に重要な取組です。様々な観点から、まちの品格向上に向けた取組を期待しますが、市の見解を伺います。

市長 JR高槻駅周辺などは、中核市高槻の玄関口としてふさわしい風格と魅力ある都市空間を形成することが重要なエリアであると考えています。

本市としては、今後も関西将棋会館への動線となるJR高槻駅北の基盤整備や快適な空間形成に向けた駅周辺の公共喫煙所・公衆トイレのリニューアルに取り組むとともに、JR高槻駅南地区の再整備に取り組む準備組合を適切に支援するなど、引き続き、駅周辺が本市の玄関口としてふさわしい空間となるよう、様々な施策を推進していきます。

市民連合議員団

未来をつくる
～学び・育ち・暮らしの充実～

遠矢家永子
吉田 錦司
※は発言者

小森 禎之
吉尾 卓也

久保 隆
※森本 信之

公園整備事業
インクルーシブの視点を

議員 2023年度にオープンしたアクトレや、現在計画中の（仮称）地域共生ステーションにインクルーシブ遊具を設置するなど、障がいのある子どもたちも集える居場所づくりが進められています。

インクルーシブの視点は、本市のまちづくりにおいて重要と考えますが、今後の



▲芥川公園に設置されたインクルーシブ遊具

公園整備事業について、市の見解を伺います。

市長 公園は様々な目的で利用されており、近年はインクルーシブ公園の整備が全国的に広がっています。本市でもアクトレや芥川公園のリニューアルにおいてインクルーシブの視点から整備を進めてきました。今後も利用実態の把握・検証に取り組みとともに、インクルーシブの視点を持ち、子どもの健全な育成を支え、新たな交流が生まれる公園整備に取り組みます。

スポーツ施設等の夜間照明
市全域の状況と在り方は

議員 熱中症対策や防災の観点から、第二中学校の夜間照明の設置に向けた設計をするとのことですが、地域からの要望もあり、実現に向けた取組を評価します。本市は、スポーツ施設や学校グラウンドへの夜間照明の設置を行っています。市全域の夜間照明の状況について伺います。

また、東部地域では夜間照明がないように感じます。夜間照明の在り方についても見解を伺います。

市長 夜間照明設備は、スポーツ施設では堤運動広場や総合スポーツセンター内の青少年運動広場・テニスコート、学校では阿武山小学校、桃園小学校、寿栄小学校に設置しています。夜間照明はスポーツニーズへの対応や熱中症対策等に有効ですが、光や音等が日常生活に影響を及ぼすことから、地域住民の理解と協力が必要不可欠です。夜間照明設備の在り方については、検討課題の一つとして考えています。

榎田地域デマンド交通
具体的な内容は

議員 榎田地域のデマンド交通実証運行について、地域住民との意見交換の内容と、どのような要望があったのか伺います。

また、地域住民の利用方法、料金、運行方法、九中や榎田小学校を利用する子どもたちへの影響や利用方法について伺います。

市長 令和5年度からデマンド交通の導入を提案し、電話またはアプリ等での予約が必要なことや、運賃は現行バスと同水準であること等を丁寧に説明し、意見交換を重ねました。通学に關する要望を受け、現行ダイヤを基本としながらも、中学生の下校時間に配慮し、榎田小学校への通学児童のために大型バスの運行を一部継続するダイヤとするなど、協議を重ねた結果、地域から要請を受けて実証運行に至りました。引き続き丁寧に意見交換を行い、課題の検証等を行います。

小中学校給食
物価高騰等の影響は

議員 食糧費や人件費の高騰、米不足が続いていますが、1人当たりの給食費の予算額は昨年度と変わっていません。給食の質や量の低下はないですか。また、必要に応じて補正予算で対応する考えはありますか。

また、昨年、牛乳パックのリサイクルについて視察を行い、有意義な事業と思いましたが、令和7年度の取組について伺います。

市長 昨今の物価高騰は食材の購入価格に影響を及ぼしていますが、献立内容や調理工程等を工夫することで、質や栄養価を落とすことのないよう対応し、物価高騰が続く場合は、必要に応じて1食単価の見直しを検討します。

牛乳パックのリサイクルは、障がい者就労施設と連携することで、実施校を4校から9校に拡大し、循環型社会の形成に向けた取組を推進していきます。

三箇牧地域 公共施設の複合化等で 次世代の呼び込みを

議員 三箇牧地域は、本市と合併後70年が経過して、少子高齢化等が進み、地元の小学校は200人程度の小規模校となっています。次世代の呼び込みや地域存続のため、公立認定こども園や小中学校、三箇牧支所、公民館などの公共施設の複合化や、災害時の避難所に活用できる施設整備を行うべきと考えますが、市の見解を伺います。

市長 当該地域は、都市計画マスタープランにおいて高槻南地域に含まれ、周辺環境と調和した計画的な土地利用の誘導による集落地の住環境の維持・改善、優良な農地や緑空間の適切な保全・活用を目指す地域としています。

公共施設の複合化等については、大規模改修や更新の際に検討することとしており、防災機能を含む多機能化・多目的化についても併せて検討していきます。

兄弟姉妹 同一園通園の実現を

議員 兄弟姉妹が別の園に通う児童が893人いるとのことでしたが、子育て世帯の送迎負担軽減のため、兄弟姉妹の同一園通園の実現や延長保育料の減免について、市の考えを伺います。

また、送迎保育ステーションや臨時保育所の設置について、駅前等での事業実施について多くの強い要望があります。市の見解は。

市長 多子世帯の送迎負担軽減のため、同園入所に向け、入所選考でさらに加算する等を検討します。

駅前などでの保育事業については、小規模保育事業所の設置を基本としながら、教育・保育提供区域ごとの保育需要を注視し、効果的な保育施策を検討します。



▲保育所等への送迎負担軽減が求められる多子世帯

日本共産党高槻市会議員団

核廃絶と平和の取組 暮らし守る制度の充実を 誰もが大事にされるまちに

※きよた純子 出町ゆかり 中村れい子
※は発言者

市の子ども医療費助成 大阪府へ要望を

議員 市の子ども医療費の完全無償化は大変評価できますが、大阪府が対象年齢を拡大すれば市の負担は大幅に減ります。府に年齢拡大、所得制限撤廃を強く求めるべきですが、見解は。

市長 現状として、府の市町村に対する補助制度は、就学前児童のみを対象とし、所得制限を設けていますが、府内全市町村は対象年齢を中学校卒業以上に拡充して

います。また、近隣4府県では補助対象を15歳または18歳年度末としていることから、府に対し、大阪府市長会を通じて、対象年齢の拡大や所得制限の撤廃などについて要望しています。

水道事業会計 値上げしない努力を

議員 水道料金の値上げをすると思いますが、値上げをしない努力が求められます。一般会計から水道事業会計への繰り出しの必要性の認識を伺います。

市長 水道事業会計への繰り出しについては、原則として、地方公営企業法の規定や総務省が定める基準によるものに限定して行うものと考えていますが、個別事業に係るものについては、その必要性に応じて実施の有無を判断しています。

令和7年度においても、水道料金の改定に当たり、物価高騰が継続している中、市民生活や事業活動への影響を考慮し、段階的な改定となるよう繰り出しを行うものです。

新規就農者を増やす取組は

議員 新規就農者を増やす取組が求められますが、この間の高槻市での取組について伺います。

市長 本市の農業の持続的発展と安定した農業経営を維持するためには、担い手の育成・確保が重要です。そのため、農業委員会や大阪府などと連携し、就農希望者からの相談に、適宜応じる体制を構築しており、相談を受ける際、農業経験の有無や農機具の保有状況等を確認しています。

令和7年度は、農業用機械等の設備の導入に国費を活用した支援を実施し、次世代の農業を担う新規就農者が安定した農業経営を確立できるよう、今後関係機関と連携して支援していきます。



高齢者への終活支援

議員 身寄りのない高齢者に対する終活支援について、お伺いします。

市長 高齢者が、可能な限り人生の最後まで、自身の意思が尊重され、必要なことを決定し、選択できることが、高齢期を自分らしく充実して生きるために重要であると考えます。

本市では、終活についてまとめた冊子の配布や、生前整理やエンディングノートなどをテーマとした講座の開催など、高齢者が終活への関心を持つ機会づくりに努めているところです。身寄りのない高齢者への支援については、日常生活支援や死後事務サービスなど、国のモデル事業を先進的に実施している自治体の事例などについて、調査研究を進めていきます。

戦後80年
平和の取組は

議員 戦後80年の節目に、平和の取組を強めることが

大事です。戦争体験を語り継ぐ活動、核兵器廃絶の取組について伺います。

市長 本市は、非核平和宣言都市として、戦争は最大の人権侵害であるとの認識に立ち、毎年8月には平和展を開催し、平和の重要性を訴える各種取組を行っています。

また、被爆に耐えて現在も生き続ける樹木の苗木を小学校へ配布し、樹木の成長を通じて子どもたちに命の大切さと平和の尊さを伝える取組も継続しています。今後も戦争を体験された方々の平和への願いが風化することのないよう、平和の大切さを次世代へ継承する取組を行っていきます。



▲高槻城公園に設置されている非核平和都市宣言碑

議 案 質 疑

3月定例会で提案された各議案について、本会議や各常任委員会で審議を行いました。ここでは、本会議や委員会での主な質疑の内容を掲載しています。



子育て

子ども家庭みまもりセンターの組織体制は

議員 令和7年4月より、子ども家庭みまもりセンターが設置されることですが、同センターに係る組織体制の特徴を伺います。

子ども保健課長 同センター所長をトップとした指揮命令系統を確立し、母子保健と児童福祉の双方に十



▲子ども保健センター(子ども保健課)



▲子育て総合支援センター



行政

デジタル市役所窓口サービスの向上を

議員 デジタル市役所に向けた課題への対応について伺います。

DX戦略室長 行政手続オンライン化については、手続の所管所属がそれぞれ計画的にオンライン化を進めるよう、引き続き全庁的な推進を図るとともに、DX推進コアリーダーによる所管所属のサポートなども実施することで、課題解決を図っていきます。また、窓口業務の改善に向けては、先進自治体での取組も踏ま

議 案 質 疑

え、引き続き窓口所管所属とDX推進コアリーダーが連携して検討を進め改善に取り組んでいきます。

これらの課題解決や改善により、市民が手続のため市役所に足を運ぶことなく、いつでもどこでもオンラインで手続ができ、来庁が必要な場合でも、できる限り負担を感じることのないデジタル市役所の取組をさらに推進していきます。

議員 窓口手続における住民の負担軽減と職員の業務負担軽減の両立を目指し、窓口サービスの向上につなげてほしい。

教 育

**教員業務支援員
配置基準と効果の検証方法**

議員 教員業務支援員について、配置基準と効果の検証方法を伺います。

教職員課長 小学校は、児童数や学級数が多くなるほど印刷等の作業量が増えるため大規模校6校に、中学校は、小学校に比べ教員の時間外在校時間が長い傾

向にあるため全18校に配置を予定しています。

また、効果検証については、教員業務の負担が軽減され、教員が本来担うべき学習指導や生徒指導に注力できているかなど、配置校の状況を把握し効果を検証していきます。

議員 教員の業務負担軽減と教育の充実や質の向上という観点から非常に意義深く評価できる取組ですが、支援員の配置が1校につき1名かつ勤務時間数が週18時間と限られており、負担軽減には限界があるため、効果検証しながら必要に応じて支援員の増員や配置校の拡大も視野に入れて柔軟な対応に努めてほしい。

**学校部活動
地域クラブへの移行**

議員 学校部活動の地域クラブへの移行について、目的と背景を伺います。

教育指導課長 学校と地域との連携・協働により、生徒が将来にわたって継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保できるように、持続可能な活動環

境を整備するものです。

生徒数が減少する中、学校単体での部活動の実施や、教員が顧問を務めるこれまでの指導体制の継続は今後より一層厳しくなると考えられます。

議員 中学生を指導するに当たって、技術に加えて教育的な視点から適正な指導はどうであるかといった観点が必要であり、教育に関わった経験のある人や団体の参画を検討することが有効であると考えます。

まちづくり

**J R高槻駅南地区再開発
準備組合への支援内容**

議員 J R高槻駅南地区市街地再開発準備組合への支援内容について伺います。

都市づくり推進課長 同準備組合は、今後、事業計画素案の作成に着手されると伺っており、本市としても、当地区に求められる都市機能・都市基盤の在り方について整理・検討を行い、事業主体となる準備組合と将来像について共有するな

ど、中核市高槻の玄関口にふさわしい風格と魅力を備えたものとなるよう、再整備に向けた準備組合の取組に対し適宜、指導・助言等を行っていきます。

議員 日本の経済状況が好転しない中、店舗の規模など、慎重な判断が必要になると考えるため、市としても、権利者の状況や経済状況等を考慮して助言してほしい。

**(仮称) 将棋のまち推進
プランの概要と進捗状況**

議員 (仮称) 将棋のまち推進プランについて、概要と進捗状況を伺います。

将棋のまち推進課長 J R高槻駅北側の新関西将棋会館を中心としたエリアにおいて、来街者に将棋のまち高槻を感じていただき、さらなるにぎわいの創出と地域経済の活性化につなげることを目的に、当該エリアにおける公共空間の在り方についての方向性を定めるものです。令和6年11月に公募型プロポーザルにより事業者を選定し計画策定に着手しており、令和8年

3月の完成を目指して取り組んでいます。

議員 道路に名称をつけるなど、費用がかからない知恵と工夫のできる取組を推進してほしい。

また、将棋会館から芥川商店街への動線に屋根やひさしを設置し、周遊しやすく歩きやすい道路整備をしてほしい。



▲将棋のまち高槻に向け取組が進む J R高槻駅西口周辺

交 通

**市営バス経営戦略
改定の目的と内容**

議員 市営バス経営戦略

議 案 質 疑

改定の目的と内容について伺います。

交通部総務企画課長 市

営バス事業を取り巻く経営環境は大変厳しさを増している状況の中、総務省通知に基づいた中間見直しとして、ODデータに基づく市営バス利用者の動向、人件費及び諸物価の高騰、2024年問題による運転士不足など、市営バス事業を取り巻く諸課題を踏まえ、市民の移動を支える市営バスサービスの在り方や、将来にわたって収支均衡を実現するための具体的な取組等を定めるものとしています。

議員 市営バスは、安全

運行はもとより、接遇サービスなど市民から信頼される事業運営が不可欠であり、これからも市営バスを守っていくという気概を持って、引き続き取り組んでほしい。



水道

水道管への企業債の活用は

議員 将来世代にも必要な設備である水道管への企業債の活用に対する見解を

伺います。

水道部総務企画課長 こ

れまでは利息を含めた償還負担を考慮して借入を控えてきましたが、長期間にわたり使用し将来世代も便益を受ける施設の整備・更新に当たっては、世代間での負担の公平性の観点から、企業債を活用する妥当性があると考え、令和7年度以降は、収支状況等を勘案しながら必要に応じて企業債の借入れを予定しています。ただし、水道料金収入が今後も減少傾向が続く見通しの中、過度な企業債の借入れは将来世代に過大な負担となるおそれがあるため、償還による負担も含めて収支を見通し、将来にわたり経営の健全性を維持できるよう、借入れの水準は慎重に判断する必要があると考えています。

議員 公営企業としての

自立経営と持続可能な経営の両立に努め、安全・安心の水道水の供給、災害に強くしなやかな水道の整備、いつまでも信頼される水道の実現に全力で取り組んでほしい。

令和7年3月定例会の議決結果（全員賛成分）

- 五領受水場浄水処理施設解体工事請負契約締結について（原案可決）
- 高槻市立葬祭センター空調設備等最適化事業契約締結について（原案可決）
- 高槻市保健所・高槻市立総合保健福祉センター空調設備等最適化事業契約締結について（原案可決）
- 高槻市立中学校教師用指導書購入契約締結について（原案可決）
- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について（原案可決）
- 高槻市職員の退職手当に関する条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市道路移動等円滑化基準及び都市公園移動等円滑化基準を定める条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市手数料条例及び高槻市建築基準法施行条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市立自転車駐車場条例及び道路法に基づき駐車料金を徴収する自転車駐車場に関する条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市下水道条例中一部改正について（原案可決）
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市道路線の認定及び廃止について（原案可決）
- 令和7年度高槻市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算について（原案可決）
- 高槻市監査委員選任につき同意を求めることについて（同意）
- 市長等の給与の特例に関する条例制定について（原案可決）
- 包括外部監査契約の締結について（原案可決）
- 高槻市議会委員会条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市議会会議規則中一部改正について（原案可決）
- 性犯罪再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書について（原案可決）

令和7年3月定例会の議案に対する表決結果（意見の分かれたもの）

会派名	高槻市議会議員団 大阪維新の会	公明党議員団	議 自 民・無 員 所 団 属	市民連合議員団	高槻市議会議員団 日本共産党	無 所 属				結 果															
議員名 議案名	江沢もと き山と 木山 鈴木 のり ゆい 子 う 子 い ち	竹中村 田村 山崎 の麻 里 子 弘	吉田 田崎 弘	五十内 十嵐 秀和 城志	笹島 佐 浪 枝	宮井 俊 治	湯田 佳 代 子	吉田 章 浩	岩金 森 こう のき よし		中村 明 子	平鍋 裕 一 郎	久保 隆	小森 禎 之	遠矢 信 之	森本 卓 也	吉田 錦 司	吉田 純 子	出町 ゆ かり	中村 れ い 子	川口 洋 一	北岡 隆 浩	高木 り ゆう た ゆみ	西村 ゆみ	
令和6年度高槻市一般会計補正予算（第6号）について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
令和6年度高槻市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度高槻市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度高槻市財産区会計補正予算（第2号）について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度高槻市下水道等事業会計補正予算（第2号）について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度高槻市自動車運送事業会計補正予算（第2号）について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度高槻市水道事業会計補正予算（第3号）について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高槻市行政不服等審査会条例及び高槻市議会個人情報の保護に関する条例中一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般職の職員の給与に関する条例等一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高槻市国民健康保険条例中一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高槻市立幼保連携型認定こども園条例中一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高槻市児童福祉法に基づく事業及び施設に関する基準を定める条例中一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高槻市水道事業条例中一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高槻市附属機関設置条例中一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度高槻市一般会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度高槻市国民健康保険特別会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度高槻市介護保険特別会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度高槻市後期高齢者医療特別会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度高槻市財産区会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度高槻市下水道等事業会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度高槻市自動車運送事業会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度高槻市水道事業会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地方議会への多様な人材の参画促進を求める意見書について	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成は○、反対は×。議長（平田裕也議員）は表決に加わっていません。

一般質問

3月定例会で18人の議員が行った一般質問の要約を掲載しています。

詳細は6月中旬以降に、市議会ホームページ「会議録検索」で閲覧できます。

一般質問の記事は、質問した議員自身が作成しています。ご不明な点は、議員にお尋ねください。

▼西村ゆみ議員

予算内容の表示基準



議員 主要予算内容の金額の表示基準が各課の裁量で慣例的に作成されているため分かりにくいです。高槻市として統一した基準を設けるべきではないですか。

答弁 施策の内容や予算額等を総合的に勘案した上で目的に応じて作成しています。今後とも、引き続き研究していきます。



議員 市の慣例を見直し、市民が理解できる表示の改善に向けた行動を求めます。

▼吉尾卓也議員

山林火災への対応



議員 高槻市の山林火災への対応について伺います。

答弁 山林火災は発生場所へのアプローチ等が難しく、定期的に林道や水源等の地水利の現状確認を行っており、消防ヘリや隣接消防応援など火災の規模等に依りて応援要請を行います。

議員 消火活動に重要な林道には入り口付近に看板を設置するなど、地域等の山林火災防止の意識向上につながる取組の検討を。

▼田村のり子議員

消防団の現状と課題



議員 入退団数の傾向と減少の課題をお聞きます。

答弁 入団数は横ばい、退団数が入団数を上回る状況で入団の促進が課題です。

議員 消防団活動を知ることが出来る「少年消防クラブ」の設置を要望します。さらに、広報活動のみに従事する等、特定の活動・役割を担う消防団員の仕組みの構築を検討し、団員を増やす取組を根気強く進める

ことを要望します。

▼吉田錦司議員

0・2歳児の無償化



議員 大阪府下で2歳児以下の保育料を無償化している市町村はありますか。

答弁 昨年の大阪府の調査によると、23市町村で実施しています。

▼遠矢家永子議員

学校図書館の充実



議員 司書教諭・校区学校司書への支援の現状は。

答弁 研修会や合同連絡会等を開催しています。

議員 本市にも、学校図書館支援センターの設置を。外国人市民・訪日外国人（インバウンド）への支援

議員 外国人総合相談窓口の北摂他市の状況は。

答弁 茨木市が令和6年

9月から開設しています。

議員 担当課を明確にし、総合相談窓口の設置を。

▼中村明子議員

健（検）診の取組



議員 未受診者の対応は。

答弁 乳幼児健診と特定健診の未受診者へは文書や電話等で受診勧奨を実施しています。学校健診では、今年度から内科健診と歯科健診で在籍校の学校医と学校歯科医の医療機関で個別受診できるようにしました。

議員 学校健診未受診者が個別受診できる環境確保を評価します。今後は医療機関未受診者への受診勧奨とともに受診の確認を。

▼金森雅樹議員

商店街への支援



議員 今後の支援の在り方について伺います。

答弁 既存の支援施策の活用を促すとともに、地域経済の動向等に応じた適切な施策を積極的に展開していきます。

議員 駅・公園等、人が集まるところから商店街へ

人が流れる動線整備といった継続的な集客への支援で、まちの顔である商店街等を整備し、さらなる高槻市の活性化を進めてほしい。

▼真鍋宗一郎議員

第3期高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略



議員 地方創生が始まって10年。本市ではどんな計画を立て、どんな成果を上げることができましたか。

答弁 他市に先駆けたシティプロモーションや住みよい環境整備・活力あるまちづくりで令和2年以降の人口は社会増です。また3億円の財源を確保しました。

議員 早期に企業版ふるさと納税を様々な分野で活用できるようにしてほしい。

▼山崎麻里子議員

加害者変容支援を



議員 DVの相談件数は。

答弁 相談件数は年々増加傾向にあります。

議員 誰にもどこにも相談していない人も多く、性別に関わらず適切な支援が求められます。目の前の被

害者を救うと同時に被害の連鎖を止め、構造的な問題解決・予防のために、加害者変容支援は大変重要で、まずは理解促進のため、人権講座や職員研修に取り入れ、社会全体の意識改革を。

木山ユウ子 議員

「障害」の表記等



議員 障害の捉え方の趨勢や情報アクセシビリティを考慮すると「障がい」以外の表記も認められるべきと考えますが市の見解は。

答弁 様々な主体でそれぞれ考えが存在すると認識し今後も動向を注視します。

議員 「障がい」という

語の使用要否も含めて、人の状態への着目ではなく社会的障壁への気づきにつながるよう、各種表現のアップデートも要望します。

小森禎之 議員

日本版DBS制度



議員 児童等への性暴力で停職や減給等の懲戒処分を受け依願退職を行った者が、公立学校で勤務しているケースはありますか。

答弁 依願退職を行った

者が公立学校で勤務しているケースを把握することは困難であると考えています。

議員 日本版DBSには懲戒免職処分を受けた者の情報だけでなく、通報記録・各種処分歴、不起訴になったケースなどの記録を。

高木りゅうた 議員

学校の水着等の指定



議員 小中学校で水着の色や形状を指定しているのは何校あるのでしょうか。

答弁 色等を指定しているのは、59校中37校です。

議員 ジェンダーレス水着の使用は認められますか。

答弁 児童生徒や保護者とも丁寧に相談を行いながら個別に対応しています。

議員 水着の選択肢が増えているので、色等を指定せず児童生徒の意向を酌んで柔軟に対応してほしい。

北岡隆浩 議員

労基署からは正勧告



議員 昨年の6月議会で、交通部の運輸主任の朝型サービス残業分について時間外勤務手当を支給すべきと指摘しましたが、昨年8月、

茨木労働基準監督署が労働基準法違反だと正勧告をしました。なぜこのことを公表しなかったのですか。

答弁 市民やお客様への影響がある事案ではないため、公表しておりません。

議員 今後、違法行為等は必ず公表してください。

江沢よし 議員

障がい者の就労支援現状と課題は



議員 就労施設への仕事の発注拡大に向けた今後の方針について伺います。

答弁 庁内の積極的な活用や、予算の編成時期に優先調達の利用を促す通知等を発出するなど、引き続き取組を推進していきます。

議員 就労支援施設と企業の連携を強化するために情報共有できる協議会を設置するなど、実効性ある施策の推進をお願いします。

鈴木りゅういち 議員

災害関連死ゼロへ



議員 要援護者安否確認ICT化は画期的。体制は。

答弁 安否情報をスマホ入力する民生委員等に研修

等を行い体制を整備します。

議員 安否確認は民生委員だけでなく近所全体で、在宅避難者等の把握は従来の手法だけで可能ですか。

答弁 従来の手法を基本に、防災DXを積極的に取り入れることも必要です。

議員 様々な立場の市民でシミュレーション訓練を。

吉田章浩 議員

子ども子育てを応援



議員 全ての子どもと子育てを応援するため、令和8年度から「こども誰でも通園制度」が本格実施されます。子育て支援等、市長の決意をお聞かせください。

答弁 国の動向を注視し保育料の無償化に向け検討を行い、子どもの健やかな成長を総合的に進めることが肝要と考えます。子育てのトップランナー都市としてより一層充実した子育て支援を進めていきます。



中村れい子 議員



議員 米不足の原因は、減反政策廃止後も小麦等への転作奨励金で実質は減反が続けられてきたことだと考えます。本市での影響は。

答弁 令和6年度に米以外の作物を栽培した面積は約5ヘクタールで、これにより減少したコメの生産量は約25トンと見込まれます。

議員 米等をつくりたいだけつくれるようにして、農業をやりたい人が農業で生活ができるような支援を。

岩 為俊 議員

高槻市の観光行政



議員 施政方針で市長が決断した、摂津峡公園と芥川城跡が一体となった地域をどのように整備しますか。

答弁 自然豊かな地域資源と芥川城跡の歴史資源をさらに磨き上げ、さらなる魅力の発信に努めることで、全国に誇れる観光拠点となるよう取り組んでいきます。

議員 多くの観光客を呼び込むには民間施設が必要で芥川城の主人公三好長慶の知名度向上も欠かせない。

議会日誌

- 1月31日 新名神・交通体系等対策特別委員会
史跡整備・活用等特別委員会
- 2月 3日 地方分権推進特別委員会
4日 市街地整備促進特別委員会
21日 議会運営委員会
26日 本会議第1日
- 3月 5日 本会議第2日
6日 本会議第3日
7日 本会議第4日
11日 福祉企業委員会
12日 市民都市委員会
13日 文教にぎわい委員会
14日 総務消防委員会
19日 議会運営委員会
21日 議会運営委員会
24日 本会議第5日
25日 本会議第6日
26日 議会だより編集委員会
- 4月11日 議会運営委員会
14日 議会だより編集委員会

議会の日程

Information

- 5月 7日(水) 10時 議会運営委員会
12日(月) 10時 本会議(役員の選任)
13日(火) 10時 本会議(役員の選任)
14日(水) 10時 本会議(役員の選任)
- 6月 2日(月) 10時 議会運営委員会
5日(木) 10時 本会議(提案理由説明)
9日(月) 10時 本会議(質疑)
11日(水) 10時 文教にぎわい委員会
10時 福祉企業委員会
12日(木) 10時 市民都市委員会
10時 総務消防委員会
18日(水) 10時 議会運営委員会
23日(月) 10時 本会議(採決、一般質問)
24日(火) 10時 本会議(一般質問)

日程は変更される場合がありますので、傍聴の際には議会事務局までお問い合わせください。(TEL 072-674-7213)

議員研修

ハラスメント研修を開催

ハラスメント問題全般の基本的な知識や認識を深めることを目的に、1月29日(水)に議員ハラスメント研修を高槻市議会の主催で開催しました。

弁護士の加納 淳子氏を講師に迎え、パワハラやセクハラなどのハラスメント防止対策の必要性や、ハラスメントに該当する事例などを学びました。



◆ 行政視察の概要 ◆

会派視察



●会派・議員名

自民・無所属議員団

岩 為俊／金森 雅樹／こうのきよし
中村 明子／平田 裕也／真鍋宗一郎

●日程・視察先・視察項目

1月27日(月) 東京都八王子市

- 置き配バッグについて
- 食品ロス削減について
- ごみ屋敷対策について

1月28日(火) 東京都町田市

- 町田市デジタル化総合戦略について

●会派・議員名

市民連合議員団

久保 隆／小森 禎之／遠矢家永子
森本 信之／吉尾 卓也／吉田 錦司

●日程・視察先・視察項目

2月5日(水) 愛知県岡崎市

- グリーンスローモビリティについて

2月6日(木) 愛知県名古屋市

- ナゴヤ スクール イノベーションについて

4月15日(火) 鹿児島県南九州市

- 知覧特攻平和会館について

4月16日(水) 熊本県熊本市

- TSMC 進出による熊本市の取組について

雑記帳

卒業式・入学式に参加させていただいて、子どもたちの成長にうれしくなるこの頃です。しかし、あの震災、津波からやっと立ち直った大船渡の山火事や、3日前に雪が降ったかと思えば夏日など、今までにない異常気象。春・夏・秋・冬と四季があった日本が今では、夏と冬しかないと思うのは私だけでしょうか。未来の子どもたちのためにも、地球規模で温暖化を少しでも後退させる努力が求められています。

本欄は編集委員(議員)が交代で書いています。